

# 未来へつなぐ友好の絆

## ―松浦へようこそ―マツカイ市親善訪問団―

マツカイ市副市長アマンダ・キヤムさんをはじめとするマツカイ市親善訪問団が9月22日から26日まで本市を訪れました。  
マツカイ市親善訪問団の松浦市滞在の様子を紹介します。



訪問団は、市役所到着後歓迎セレモニーを受けました。上志佐保育所園児による太鼓のパフォーマンスや子どもたちが描いた似顔絵のプレゼントなどが行われました。その後は歓迎会、翌日からは今福保育園の運動会観覧、松浦高校なぎなた部の練習見学、ビル・モロイ杯Englishスピーチ・コンテスト、ホームピジット、書道体験、発電所訪

問、滑栄地区の天満宮秋祭参加、浴衣の着付け、パブクロール(次々と場所を変えてお酒を楽しむこと)、花火など、松浦市国際親善協会が用意したさまざまなプログラムを団員の皆さんは楽しんでいました。  
お別れ時には2年後の姉妹都市提携30周年を両市で祝うことを約束し、帰国の途につきました。

### 松浦市国際親善協会

松浦市国際親善協会は、市民主体の国際交流を支援していくと平成2年5月に発足しました。

発足以来、姉妹都市マツカイ市との交流事業を中心に、中高生を対象とした青少年使節団と一般市民を対象とした市民訪問団の派遣と受け入れ、英会話教室の開催、スピーチコンテストといった市の国際交流行事の支援などさまざまな活動を行っています。

また、今年度は新たに会員による事業のサポートメンバーJOEYS(ジョイス)を設立しました。JOEYSは毎月会議を開き、事業の内容について色々なアイデアを出し合ったり、役割分担を決めたりして、一人ひとりが主役となる「国際交流」を目指して取り組んでいます。「国際交流」に興味がある人、一度のぞいてみませんか？

#### 【問合せ先】

生涯学習課社会教育係  
☎内線340



▲両市の友好に尽力されたビル・モロイさんも一緒に交流の時間を過ごしました。

- ①市役所のモニュメント前で
- ②花火
- ③滑栄地区天満神社秋祭
- ④上志佐保育所園児から似顔絵のプレゼント
- ⑤書道体験
- ⑥松浦火力発電所見学
- ⑦浴衣着付体験
- ⑧パブクロール後みんなで記念撮影



①押し寿司づくり  
②そば打ち体験  
③かからの葉を取りに行きました

④かから団子づくり  
⑤豆腐づくり



⑥稲刈り作業  
⑦かけ干し作業



## おいしくできました!



### 田代地区グリーン・ツーリズム研究会

田代地区グリーン・ツーリズム研究会では、地域の産物や文化について理解を深めて欲しいと地域の子どもたちに向けてさまざまな体験活動を行っています。

味覚体験では、御厨中学校1・2年生の生徒たちが、押し寿司づくりやそば打ち体験、かから団子づくり、田舎豆腐づくりを行いました。

9月26日に2年生35人、10月4日に1年生45人が、自分の希望した体験プログラムに取り組みました。

レシピどおりの手順、分量でつくっても、手の温度や力の加減の違いなどから同じ仕上がりににはなりません。生徒たちは、つくった料理を食べ比べて感想を言い合ったりしながら、「自分でつくったものがいちばんおいしい」と笑顔で話してくれました。

「初めてつくった」と話す子どもも多数おり、地元食文化を知るきっかけにもなりました。

そして、10月20日には、御厨小学校5年生の児童37人が稲刈り体験を行いました。

6月に自分たちで植えたもち米の苗が成長し、いよいよ収穫の時。

稲刈りや稲を束ねる作業などを通して、お米の大切さやお米づくりの大変さを実感していました。

11月29日に収穫したもち米で餅つきを行う予定です。

## 見て触れて体験する

### ～小中学生の体験活動～

### 松浦ロータリークラブ

9月29日、佐世保市の九十九島動物園(森きらら)への合同体験旅行が行われ、市内小中学校の特別支援学級の児童や生徒45人が参加しました。

この取り組みは、松浦ロータリークラブの青少年奉仕活動の一環として毎年実施されているもので、今年で36回目になります。

子どもたちは入場すると一斉に散策を開始し、園内の説明書きやスタッフの話を聞いて不思議に思ったことを解決したり、写真をたくさん撮影したりして楽しく過ごしていました。

実際に見て、触れて、楽しみながら学ぶ一日になりました。